

# リハビリテーション科研修コース

研修コース責任者：木村 浩彰（リハビリテーション科 教授）

研修コース副責任者：永富 彰仁（リハビリテーション科 助教）

## 1. コースの概要

リハビリテーション（以下リハ）科は本来治らない病気に対する医学であり、医療だけでなく保健や福祉分野まで網羅しなければなりません。高齢化社会を迎え、治療できない疾病や障害に対応するため、急性期病院や回復期・療養病院、緩和、在宅、生活施設、行政など多様な場所でリハ医は必要とされています。しかし、リハ専門医は1730人（2009年11月）で全医師数の僅か0.62%、専門医制度中2番目に少なく、リハ専門医の養成は喫緊の課題です。

- リハ専門医養成コース
  - 生粋のリハ専門医  
リハ科は内科、外科など基本となる18専門医制度の1つです。これらの専門医は将来1種類しか所持できない予定ですので、リハ専門医を初めから修得すべきです。
  - 他科からの転科  
他科に入局後、治らない病気や障害に直面した患者に心砕く医師は、リハ科へ転科を検討する。リハ科は、患者の新しい生活を立案・実現する理念が最も重要で、今まで他科で培ってきた専門性は無駄になりません。
- 回復期リハ病院専任医育成コース・その他  
自宅に戻るため専門的にリハを行う回復期リハ病院は全国に1360カ所以上あり、専任医を必要とします。また、リハ科は頭脳労働主体で勤務時間が遵守され、社会的必要性が高く専門医が少ないため、結婚や出産、開業などライフスタイル変化もリハ医修得の契機となります。

リハ医は、理学療法士や作業療法士など多くの専門職を統括し、治療医学では軽視される患者の生活や暴力、アルコール依存、浮気、嫁姑の確執など、病気以外の背景因子に着目し新しい生活を立案しなければなりません。この点で医師の適性が求められます。

## 2. 構成病院群一覧（病院名、責任者名、URL）（広島大学病院を除く。）

広島市総合リハビリテーションセンター・身体障害者更生相談所：吉村 理

<http://www.city.hiroshima.lg.jp/www/contents/0000000000000/1236247569370/>

広島市総合リハビリテーションセンター・リハビリテーション病院：村上 恒二

<http://www.city.hiroshima.lg.jp/www/contents/0000000000000/1235381408831/index.html>

広島県立身体障害者リハビリテーションセンター：黒瀬 靖郎

<http://www.rehab-hiroshima.gr.jp/index.htm>

医療法人社団長寿会・はたのリハビリ整形外科：畑野 栄治

<http://www18.ocn.ne.jp/~seno0507/index.html>

県立広島病院リハビリテーション科：中西 徹

<http://www.hph.pref.hiroshima.jp/>

廿日市記念病院：戸田 克広

<http://www.seifu.or.jp/hmh/>

アマノリハビリテーション病院：日域 育子

<http://www.amano-reha.com/>

大谷リハビリテーション病院：麻生 智洋

<http://www.ootanihp.com/>

### 3. 研修期間

後期研修期間は3年間。

リハの対象は全科の疾患となり、疾患の治療や予後を理解し、急性期から回復期、療養、在宅と一連の流れの中で患者の生活や背景因子を重視したリハ独自の診察や処方が求められます。また、リハ専門医取得の要件として、1. 卒後5年目の医師としての経験を有し、2. 日本リハ医学会入会后3年の経験を有し、3. 指定認定施設で3年間の研修を有することが挙げられます。

急性期から在宅まで網羅した病院は無いため、それぞれの病院で研修を受ける必要があります。大学病院を含め、上記の関連病院は日本リハ医学会指定研修施設となっており、少なくとも3年以上、上記関連病院で研修を受け、リハ専門医を取得することが望ましいと考えます。

### 4. 定員

特に設けていません。

### 5. 入局について

リハ科は平成22年7月に独立したばかりですが、入局を勧めます。

- リハ専門医取得

リハ専門医を取得するため、広島県下に17カ所しかない指定研修施設で3年間研修 (<http://www.soc.nii.ac.jp/jarm/gakkai/ninteiFm.html>) し、脳血管障害だけでなく、脊髄損傷や骨関節疾患、脳性麻痺などの小児疾患、神経・筋疾患、切断、呼吸器・循環器疾患、悪性腫瘍・熱傷など合計30症例の症例報告と、1編の筆頭論文が必要です。このため、一貫した指導と研修体制の下で、数カ所の病院で研修を受ける必要があります。そのためには入局という方法が有用と考えます。

- 整形外科医局との関係

私自身が整形外科出身で整形外科医局と緊密な関係があり、広島県下の主要な病院のリハポストを整形外科が所持している現実から、整形外科医局へ入局をお願いしています。ただし、研修内容や人事についてリハ科独自となっています。

### 6. 取得できる専門医、認定医について

日本リハビリテーション医学会臨床認定医、日本リハビリテーション医学会専門医

## 7. 大学院について

リハ科が独立して間もないため実績はありませんが、今後整備する予定です。

## 8. 国内・国外への留学について

研修医の希望に沿って、国内の主要なリハ専門病院で研修できるよう配慮します。リハ部時代に、北海道大学、慶応大学、東海大学、産業医科大学への実績があります。

国外留学の実績はありません。

## 9. 女性の医師への対応について

リハ科は患者さんの生活を再構築するのですが、女性の考えや行動が問題になることが多く、やる気のある女性医師を歓迎します。リハ科は元々頭脳労働が多く、労働時間がはっきりしているので女性向きですが、結婚・出産・育児に対して柔軟に対応します。保育所を持つ病院もあり（大学病院、アマノリハ病院）、労働時間短縮や授乳休暇など必要な権利を行使できるよう努力します。

## 10. 後期研修後の進路について

研修医の希望に沿うようにできるだけ努力します。大学院進学や国内外留学、大学病院スタッフとして臨床・研究継続、関連病院への出張など可能です。

## 11. 大学医局に関する情報（研究室の構成）

### (1) 所属医師数

総数：	4名		
男性：	3名	女性：	1名
教授以外の教員：	2名	医科診療医：	1名
大学院生：	0名	研究生：	0名

### (2) 各研究室の構成

研究室名	専門分野・研究テーマ	チーフ名(役職)	構成人数
骨関節疾患	軟骨再生・関節固有感覚	木村（教授）	1人
内部障害	心臓リハ・ASVの臨床応用	永富（助教）	1人
下肢切断	義足早期装着療法	木村（教授）	2人
外科手術	早期離床・ERAS/Fast trac	木村（教授）	1人

### (3) 教室スタッフ

教授：木村 浩彰

助教：鈴木 修身、永富 彰仁

医科診療医：種村 衣里子

#### (4) 教室の特色

リハ科は昭和 25 年理学療法部に始まり、平成 6 年 6 月リハ部となり、平成 23 年 7 月リハ科准教授の木村浩彰が広島大学病院リハ科初代教授に任命され、広島大学病院リハ科が開設されました。リハ科は全国で 80 校ある医学部・医科大学中 30 ヶ所しかなく、国立大学では 8 番目です(9 番目は岡山大学リハ科)。リハ科にはリハ専門医である専従医師 2 名と、理学療法士 16 名、作業療法士 7 名が在籍しています。さらに、平成 23 年 4 月より後期研修医として種村衣里子先生が入局され、今後も新進気鋭の医師を期待しています。

リハ科は整形外科だけでなく、ほぼ全科と連携し、高度救命救急センターと脳神経外科・内科、心臓血管外科・循環器内科、消化器外科の病棟には、リハスタッフを常駐させている。平成 20 年度リハを行った患者数は延べ 35138 名(脳血管疾患等リハ 24358 名、運動器リハ 10504 名、呼吸リハ 276 名)、あらゆる科から紹介を受け、広範な知識を得ることができる。

#### (5) 最近の教室入局者数

	合 計	広大卒(男)	広大卒(女)	他大学卒(男)	他大学卒(女)
平成 23 年度	1 名	0 名	0 名	0 名	1 名

#### (6) 大学院への最近の進学状況

平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度
1 名	0 名	0 名	0 名	0 名

#### (7) 大学院在学中の収入(年収)

社会人枠で大学院に通学している方の月収は 68 万円以上です(年収 800 万円以上)。

#### (8) 大学院生の卒後の進路について

関連病院での勤務、国内外の施設への留学、大学病院での臨床研究の継続など要望に併せて決定します。リハ専門医のニーズは高いのですが、リハ専門医が少ないため 1 人部長となり、指導的な立場になる可能性があります。

#### (9) 教室の今後の展望

リハ科は本来治らない病気に対応する学門なので、障害の原因となった疾病だけでなく、生活スタイルや QOL、社会制度など多くの要因に総合的に解釈する必要があります。当たり前のことですが、病気は患者の人生を一度破滅させるのです。病気を治すことに集中し過ぎると、病気の影響から目を背けてしまいます。リハ科は急性期病院においても、手術患者の早期離床や回復促進、心臓リハ、呼吸リハ、義肢装具療法など広く活躍の場がありますが、障害を持って自宅に帰るためのリハや在宅生活を維持・向上するためのリハはまだ確立されておらず、広島はまだ黎明期といって良いと思います。麻痺や慢性疼痛、血行障害、嚥下障害など機能障害に着目するだけでなく、患者の生活から離れることなく臨床と研究を継続し、1 人でも多くの患者さんが自分の思い通りの生活ができるよう支援できれば良いと考えます。患者さんの新しい生活を立案できる頼れるリハ医を育成することが、リハ科の最大の課題です。

## (10) 教授のプロフィール

木村 浩彰 (きむら ひろあき)

広島県広島市出身。47歳 (昭和39年2月1日生)

学歴および職歴：

昭和	57.	4.	1	広島大学 医学部 医学進学課程 入学
	59.	3.	31	同上 修了
	59.	4.	1	広島大学 医学部 医学科 進学
	63.	3.	24	同上 卒業
	63.	4.	1	広島大学医学部附属病院において見学許可
	63.	5.	13	医師免許証下付 (医籍登録番号第311878号)
	63.	5.	31	広島大学医学部附属病院見学中止
	63.	6.	1	医員 (研修医) 広島大学医学部附属病院
	63.	9.	1	尾道総合病院 医師
	64.	1.	1	医員 (研修医) 広島大学医学部附属病院
平成元年	4.	1		広島市立安佐市民病院 医師
	2.	4.	1	三次中央病院 医師
	3.	4.	1	広島大学大学院医学系研究科博士課程外科系 (整形外科学) 専攻入学
	7.	3.	24	博士 (医学) (広島大学)
	7.	4.	1	医員 広島大学医学部附属病院
	8.	4.	1	広島市身体障害者更生相談所 医師
	12.	4.	1	広島県立身体障害者リハビリテーションセンター 医師
	13.	4.	1	医員 広島大学医学部附属病院
	15.	4.	1	広島大学病院リハビリテーション部 講師
	20.	3.	1	広島大学病院リハビリテーション部 准教授
	22.	7.	1	広島大学病院リハビリテーション科 教授
				現在に至る

## コース全体図

前期研修 2 年				
入局				
後期研修 (リハ研修指定病院で 3 年以上勤務)				
1 年	大学病院	専門研修病院 1	専門研修病院 2	大学院
2 年				
3 年				
卒後 5 年目：リハ専門医取得				
大学病院	関連病院	一般病院	開業	行政職

## 連絡先：

連絡責任者： 木村 浩彰

連絡先           Tel：082-257-5566   E-mail：luna@hiroshima-u.ac.jp

                    Fax：082-257-5594   URL：http://home.hiroshima-u.ac.jp/riha/